

委託事業実施内容報告書
平成26年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
【地域日本語教育実践プログラム(A)】

受託団体名 九段日本文化研究所日本語学院

1. 事業名称

千代田区におけるボランティア日本語教育の活性化と拡充のための支援事業

2. 事業の目的

本事業の目的は、千代田区におけるボランティア日本語教育の活性化と拡充を支援することである。事業の各取組を通して、地域ボランティア日本語教育に関わる諸団体や人々との橋渡しとなり、地域のボランティア日本語教育人材の育成や地域住民と外国人の相互理解に取り組み、且つ、それを継続的なものにするすることで、生活者としての外国人の支援を達成する。

3. 事業内容の概要

4. 運営委員会の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間数	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 7月31日 (木) 10:00～ 11:30	1.5時間	九段日本語学院8Fラウンジ	梶村勝利、土橋和也、林川玲子、山形美保子、宮崎妙子、海老根紀子、北川淳子、小早川麻衣子	①運営委員紹介 ②文化庁委託事業25年度報告及び反省 ③26年度取り組みに向けて改善点 ④各取り組み日程	前回の反省を踏まえてどのような講座にしていけるか、曜日や時間帯などもより通いやすい日程での設定が必要。いかにやりっぱなしにならない講座にしていけるかなどの意見交換。
2	平成26年 9月16日 (火)10:30 ～11:30	1時間	九段日本語学院8Fラウンジ	梶村勝利、林川玲子、海老根紀子、北川淳子、小早川麻衣子	①第一回講師会内容報告 ②日本語ボランティア講座スケジュール及び内容	日程及び内容の確認、外国人及び日本人の募集の方法、媒体など
3	平成26年 11月25日 (火)11:00 ～12:00	1時間	九段日本語学院803教室	梶村勝利、林川玲子、海老根紀子、北川淳子	①日本語教室及び日本語ボランティア講座途中報告 ②講座の成果及び検証方法	実施中の講座の途中経過報告及び評価をどのように行うか、またボランティア講座修了後はどのように継続して協力してもらえる体制が作れるかなど
4	平成27年 1月20日 (火)11:30 ～12:30	1時間	九段日本語学院802教室	梶村勝利、林川玲子、海老根紀子、北川淳子	①日本語ボランティア講座アンケート結果とその後の動き ②日本語教室の状況について ③27年度取組みについて	日本語ボランティア教室の立ち上げをどのようにサポートできるか。また2年続けた取組みを今後どのように活かしていくか。
4	平成27年 3月19日 (木)16:00 ～17:00	1時間	九段日本語学院802教室	梶村勝利、林川玲子、海老根紀子、北川淳子	①全講座修了、それぞれの成果と今後の改善点について ②講座修了後の活動について ③コーディネーター研修報告と今後について	生活者としての外国人をどのように募集していくか、分析方法と広告内容、また募集方法

5. 日本語教育の実施

(1) 講座名称 地域住民と外国人の相互理解を支援する日本語講座

(2) 目的 地域住民と外国人の相互理解を支援することを目的とする。外国人に対しては、日本で生活する上で必要な、最低限のコミュニケーションを可能とする日本語や、地域社会のルールやマナー、日本文化への理解を促進することを目指す。また、地域住民に対しては、外国人の文化や考えを学び、外国人への理解を促進することを目指す。

(3) 対象者 本事業を必要とする外国人全般

(4) 開催時間数 (回数)3時間/回 (全20回)

上記内容を達成するよう、文化庁「生活者としての外国人」の標準的なカリキュラム案や教材例集に加え、当校が平成25年度本事業実施時に作成したカリキュラムとその経験を活用する。

(6) 受講者の総数 17人

出身・国籍別内訳

中国	2人	インドネシア	0人	
韓国	0人	タイ	0人	カナダ1人、チュニジア2人、イタリア2人、台湾2人、アメリカ1人、オランダ1人、レバノン1人、スウェーデン1人、コロンビア1人、ベルギー1人
ブラジル	1人	ペルー	0人	
ベトナム	0人	フィリピン	1人	
ネパール	0人	日本	0人	

(7) 日本語教室の具体的内容

回数	開講日時	時間数	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年11月1日(土)13:00-16:00	3時間	九段日本語学院8階教室	5人	中国(2人)、イタリア(1人)、アメリカ(1人)、フィリピン(1人)	講座の概要と自己紹介	講座の目的や内容を簡単に紹介し、個人のカルテに自分情報を記入する。次に一人ずつ発表し、学習者間の相互理解をはかる。	山形	北川
2	11月7日(金)9:30-12:30	3時間	九段日本語学院8階教室	3人	カナダ(1人)、チュニジア(1人)、アメリカ(1人)	挨拶と便利な語彙／表現-1	日常生活で使える簡単な挨拶表現を覚え、学習者同士で使ってみる。H25年「コミュニケーションにほんご」(以降「コミュに」と表記)pp2-3を使用。	山形	北川
3	11月14日(金)9:30-12:30	3時間	九段日本語学院8階教室	4人	カナダ(1人)、チュニジア(2人)、アメリカ(1人)	わたしたちの町・街を見る	町や街にはどのような建物があるのか、どのような表示があるのか、教室で予備知識を得る。その後、実際に町に出て街を歩いていろいろなものを発見する。「コミュに」pp89-90を	山形	北川
4	11月15日(土)13:00-16:00	3時間	九段日本語学院8階教室	6人	中国(2人)、カナダ(1人)、イタリア(1人)、アメリカ(1人)、オランダ(1人)	日本人と話そう-1	初対面の人と交わす簡単な挨拶を覚えてペアで練習する(「コミュに」p12使用)。自己紹介で使う簡単な名刺を各自3枚作成し、日本人6名を含めて名刺交換を行う。もらった名刺を見ながら各人が1人について紹介する。また、全体でアクティビティ「部屋の四隅」を実施。	山形	北川(日本人ボランティア6名参加)
5	11月21日(金)9:30-12:30	3時間	九段日本語学院8階教室	6人	カナダ(1人)、チュニジア(2人)、中国(1人)、アメリカ(1人)、オランダ(1人)	病気に関する語彙と表現	体の部位の名称や診療科、症状などをネット上サイトから問診票を取り出して学習。日本で診察を受けた経験など学習者間の情報共有も行った。また、近くのドラッグストアへ行き、市販薬の種類や用途を見学。	山形	北川
6	11月28日(金)9:30-12:30	3時間	九段日本語学院8階教室	5人	中国(1人)、チュニジア(2人)、アメリカ(1人)、オランダ(1人)	図書館に行ってみよう	地域の公立図書館を知るために、図書館で何ができるかを事前学習し、実際に図書館へ出かけ、館内ツアーに参加した。また、各人が貸し出しカードの作成も。	山形	北川
7	12月5日(金)9:30-12:30	3時間	九段日本語学院8階教室	3人	アメリカ(1人)、オランダ(1人)	①便利な語彙／表現-2 ②ごみについて-1	1)日常生活で使える便利な語彙を学習(「コミュに」pp110-111を使用)。2)ごみの分別についての学習(「コミュに」p46を使用)。	山形	北川
8	12月6日(土)13:00-16:00	3時間	九段日本語学院8階教室	6人	中国(1人)、カナダ(1人)、アメリカ(1人)、オランダ(1人)、台湾(2人)	日本人と話そう-2	アクティビティ「4つの顔」を使った活動のための準備を学習者グループで行ったあとに日本人ゲストが入室。2グループに分かれて作業開始。次にフォトランゲージ「日常生活場面」でグループディスカッションを。さらにランキング「どこで食べたい？」を使って4グループで話し合い	山形	北川(日本人ボランティア8名参加)
9	12月12日(金)9:30-12:30	3時間	九段日本語学院8階教室	3人	アメリカ(1人)、オランダ(1人)、チュニジア(1人)	①便利な語彙／表現-3 ②ごみについて-1	1)日常生活に使える表現を学習(「コミュに」p4を使用)。2)ごみ出しルールについて学ぶため、町へ出かける(コンビニの分別ごみ箱や地域のごみ集積所などを見学)。各国のごみ出しルールやごみ情報の発表。	山形	北川(日本人ボランティア3名参加)
10	12月19日(金)9:30-12:30	3時間	九段日本語学院8階教室	6人	中国(1人)、カナダ(1人)、チュニジア(2人)、アメリカ(1人)、オランダ(1人)	ごみについて-2②救急処置	1)ネット接続をして、各学習者の居住エリアのごみの出し方について見てみる。2)ネット上の画面を見て、非常時、特に救急時の情報を得る。	山形	北川(日本人ボランティア3名参加)

11	平成27年 1月9日 (金) 9:30— 12:30	3時 間	九段日本語学 院8階教室	5人	中国(1 人)、カナ ダ(1人)、 チュニジア (1人)、ア メリカ(1 人)、オラ ンダ(1人)	非常時に備え てー1	17,18回目に実施される体験学習に 備えての学習(「コミュに」p29使用)	山形	北川(日本人ボラ ンティア3名参加)
12	1月10日 (土)	3時 間	九段日本語学 院8階教室	1人	オランダ (1人)	正月の話	日本の正月行事、学習者の国のク リスマス／正月の話、福笑いゲーム の体験	山形	北川
13	1月16日 (金) 9:30— 12:30	3時 間	九段日本語学 院8階教室、ラ ウンジ		中国(1 人)、カナ ダ(1人)、 チュニジア (1人)、ア メリカ(1 人)、オラ ンダ(1人)	生活相談 書道体験	交通ルールについて(特に自転車や 車)の各国での違いなどについても 話し合い。エレベーターの地方で の暗黙の違いなど。 書初め体験。まずは筆の持ち方や 姿勢から見本を見て書く練習。その 後自分の好きな言葉を書いてみる。	海老根、北 川	北川
14	1月17日 (土)13: 00—16:00	3時 間	九段日本語学 院8階教室	2人	中国(1 人)、オラ ンダ(1人)	①年中行事 ②非常時に 備えてー2		山形	北川
15	1月23日 (金) 9:30— 12:30	3時 間	九段日本語学 院8階教室、茶 室		中国(1 人)、カナ ダ(1人)、 チュニジア (1人)、ア メリカ(1 人)、オラ ンダ(1人)	生活相談 茶道体験	住居に関するルールについて(特に 家を探す時、引っ越し時のルール や日本の間取りについて)かなり国 との違いがあり、敷金や礼金につ いての質問や各国の間取りなどにつ いても意見交換。茶 道体験は先生のお点前を見てお茶 を頂き、その後自分達でお茶を点て てみる。	海老根、青 山	北川(日本人ボラ ンティア4名参加)
16	1月24日 (土)13: 00—16:00	3時 間	九段日本語学 院8階教室	3人	中国(1 人)、アメ リカ(1 人)、オラ ンダ(1人)	日本人と話そ うー3	日本人ボランティアが入室する前に 学習者は事前準備として「わたしの 5つの宝物」を考え、説明できるよう にしておく。全体6名で1人ずつ宝物 を発表し、それに対して聞き手がそ れぞれに質問を行う。	山形	北川(日本人ボラ ンティア3名参加)
17	1月30日 (金) 9:30— 12:30	3時 間	九段日本語学 院8階教室、三 崎町消防署	3人	カナダ(1 人)、アメ リカ(1 人)、オラ ンダ(1人)	非常時に備え てー3	非常の場合に備えての予備知識を 学んだ後に、三崎町消防署にて応 急処置の体験学習(AEDの使い方を 含む)をする。	山形	北川(日本人ボラ ンティア2名参加)
18	1月31日 (土)13: 00—16:30	3時 間	九段日本語学 院8階教室、本 所防災館	9人	中国(1 人)、アメ リカ(1 人)、オラ ンダ(1 人)、レバ ノン(1 人)、イタ リア(1 人)、ブラ ジル(1 人)、ス ウェデー ン(1人)、 ベルギー (1人)、フ ランス(1 人)	非常時に備え てー4	自然災害に備えるための予備知識 を学んだ後、本所防災館にて体験 学習を行う。	山形	北川(日本人ボラ ンティア2名参加)
19	2月6日 (金) 9:30— 12:30	3時 間	九段日本語学 院8階教室	2人	アメリカ(1 人)、オラ ンダ(1人)	クラスメートに 感謝を表明し よう	1)防災クイズ(国際交流基金「みん なの教材」サイトから)を使って体験 学習を振り返る。2)クラスメートに 「ありがとうのカード」を作る。	山形	北川(日本人ボラ ンティア2名参加)
20	2月7日 (土)13: 00—16:00	3時 間	九段日本語学 院8階教室	2人	中国(1 人)、オラ ンダ(1人)	①便利な語 彙／表現② コースの フィードバック	1)日常生活で使える語彙や表現の 学習(「コミュに」p8使用)。2)学習者 と共にコースを振り返り、何を学べた かカルテに記載する。	山形	北川

(8) 受講者の募集方法

千代田区大使館へチラシと手紙郵送、区内の料理店へチラシ配り、当校ホームページ掲載、学生への告知、英語学院講師への告知、外国人が見るウェブサイトへの投稿。

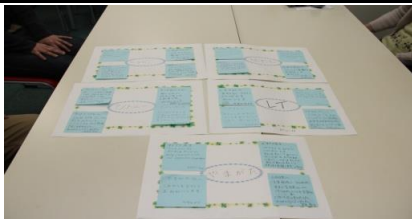
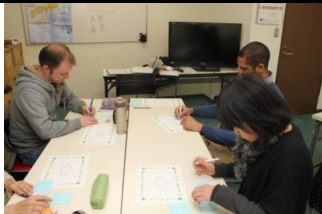
(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

第8回目(12月6日)

1 コ マ 目 (90 分)	・コミュニケーション活動「1週間の私のニュース」:手順→①学習者がペアになり、お互いの1週間の出来事の中から一つ選んで伝える／聞き取る。②自分のできごとを伝え、相手から聞き取ったら、全体に向けて相手から聞いた内容を報告する。③報告された人に対して、報告を聞いた人が質問をする。④報告者が次の報告者を指名して同じ作業をする。 ・アクティビティ「4つの顔」のための事前準備 ・アクティビティ「4つの顔」:手順→①日本人ボランティアと学習者を半々に分け、2グループを作る。②各自A3サイズ of 用紙を4つ折りにし、4分割されたところに自分を表す内容を書く(4項目の内容としては、各グループにそれぞれ決めてもらったが、両グループ共に「名前」「趣味」「出身」「来日理由(日本人には今日ここにいる理由)」と決定。④各グループが同時進行で一人ずつ自分の「4つの顔」を発表し、他のメンバーから質問や感想をもらう。
2 コ マ 目 (80 分)	・フォトランゲージその1「ヤマダさんの一日」:手順→①二つのグループにそれぞれ同数の同場面の写真(B4サイズ、カラー)を6枚ずつ配付(写真の順序はアトラダムに)。②1枚ずつどんな場面でどんな動作か、自由にグループで学習者を中心に話させる。③写真を3枚くらい見せたところで、学習者から「これは一日の生活を表している」という発言がある。④すべての写真の描写が済んだところで、グループのメンバーを半数入れ替えて、新しいグループメンバーで6枚の写真を一日の流れとして並べる。このときも学習者が中心となって作業を進め、日本人は補助的な参加で。⑤2グループの写真の順番を見比べ、2枚程順が違うことを発見。⑥各グループから1人の学習者に「ヤマダさん」の一日の行動をレポートしてもらう。⑦次にほかの学習者に「ヤマダさん」の人物像について、自由に述べてもらう。 ・ランキング要素を取り入れたフォトランゲージその2「どの店で食べたい?」:手順①4枚の写真(B4サイズ、カラー)を全体に見せる(高級レストラン、ファミリーレストラン、駅ホームの立ち食い店、大衆食堂の様子を表す写真)②2つのグループのメンバーを再度少し入れ替え、全員にそれぞれ同じ4枚セットを配り(白黒写真、B6サイズ)、各自の判断で好きな順に並べてもらう。③2つのグループをさらに4つに分けて、各グループのメンバーがランキングした写真を見比べて、そのランクづけの根拠や感想などを、自由に発言させる。 ・学習へのフィードバックシートを記入する(毎回、授業の終わりに、きょうは何を勉強したか、どんな感想を持ったか、の2点を学習者に書いてもらっている。書くための言語は自由。コメント例としては以下を参照(表記は学習者の書いたものをそのまま転記)。 * 日本人の普段の生活の状態を見ました。 * very friendly and interesting discussion * 日常的物を勉強しました。例えば、ふすまの単字 * いろいろな会話を練習したり、日本人と話したりしますから、日本語を話すことは簡単になりました * とてもカジュアルな話なので、わかりやすく楽しかったです。 * 日本せかすと日本人ははなしました。おもしろくて、たのしかったです。 * さまざまなことを話して楽しかったです。

第9回(12月12日)

1 コ マ 目 (90 分)	・コミュニケーション活動「1週間の私のニュース」:手順→①学習者がペアになり、お互いの1週間の出来事の中から一つ選んで伝える／聞き取る。②自分のできごとを伝え、相手から聞き取ったら、全体に向けて相手から聞いた内容を報告する。③報告された人に対して、報告を聞いた人が質問をする。④報告者が次の報告者を指名して同じ作業をする。 ・日常生活で使える便利な表現の学習(「コミュニケーションにほんご」pp4-5を使用)。特に、「～は〇〇語でなんですか」や「これ、何ですか」の文型をチェンドリル形式で質問-答えを言わせる。 ・ごみの出し方を学ぶ-2:手順→①ゴミの種類を「コミュ」jp36を使い、「これはどんなごみ?」の部分でボランティアとペア作業。②学習者がわからないものについては、ボランティアにたずねる。③学習者に次々とごみの種類の言い方や出し方を発表してもらう。④千代田区清掃事務所のHPにアクセスし、ごみの分別(イラスト入り)についての部分をテレビモニタ画面に映して見せ、主にイラストを見て、それは何なのか、何ゴミか、どうゴミとして出すか、ということ学習。
2 コ マ 目 (80 分)	④教室のある建物の前のごみ集積所の掲示と出されたごみを写した画像を見た後に、現地へ行って見てみる。⑤コンビニの入り口脇の3種のごみ箱を観察し、店内の様々な商品をごみとして出す場合は何ごみとなるのかを考える。⑥建物の周囲ワンブロックをぐるりと回りながら、ごみ集積所を探してみる。中には回収されずに残されたごみがあり、それを見て、その理由を考えることも。⑦教室へ戻って、発見したことを報告する。⑧学習者それぞれの出身国でのごみ事情を話す。学習者が報告してくれた内容の中から、いくつかを以下に記す。 * アメリカのイリノイではアルミ以外のごみは分別せずに出す * オランダでは町にあるごみ箱は色別されており、さらにビンも色別にできるようになっている。洋服はスーパーの入り口脇に専用のリサイクルボックスがある。 * チュニジアでは生ごみや古い洋服をもらいに来る人がいる。それらはリサイクルやリユースのために活用される。 ・学習へのフィードバックシートを記入する(毎回、授業の終わりに、きょうは何を勉強したか、どんな感想を持ったか、の2点を学習者に書いてもらっている。書くための言語は自由。コメント例としては以下を参照(表記は学習者の書いたものをそのまま転記)。 * こみのぺんきょうしました。たのしくとおもかったです。 * Talked about trash and trash separation. Visited local trash sites around the area, “Family Mart” and “Street Site”. * Merci Beaucoup mesdames. Seance bien enrichie. Un grand plaisir d’etre parmi vous. jamata Pligato gozaymuse.



第15回(1月23日)

1コマ目 (90分)	生活相談(2回目)住居について 国交省からでているガイドライン「外国人向け部屋探しのガイドブック(日本で部屋探しをする外国の方へ)」を見ながら、どのように学習者が部屋を借りたかなどをヒアリングしながら難しかった事、疑問点を説明していききました。日本独特の敷金礼金更新料といった説明や、各国ではどのように部屋を表現するのか等意見交換もしながら、日本人ボランティアと一緒に学びました。日本語版だけではなく、英語版や中国語版など多言語であったため、教材としてはとても使いやすかったと思います。
2コマ目 (90分)	裏千家から講師をお願いしての茶道体験。まずは茶室に入って歩き方(右から入る)座る場所(たたみの目の数え方や、どの位置に座るか)、掛け軸の文字の意味や生花について説明をして頂き、その後講師がお茶を点てるのを見ながら生菓子を味わい、抹茶の飲み方を学びました。日本人ボランティアの中にもお茶を習っていた方がいらっしやったので、手伝ってもらいながら、今度は自分達でお茶を点ててみます。初めて触る茶筌で、悪戦苦闘しながらも何とか美味しいような泡を作ることができました。学習者は「先生が点てたお茶のほうが美味しい」と口々に言っていました。初めての体験に色々質問もでていました。抹茶や、お茶の道具が買える店を聞かれたり、各国ではどのような飲み物を楽しむかなど、色々意見交換もなされ、とても和気あいあいとした雰囲気、楽しめました。



(10) 目標の達成状況・成果

本事業の目的・目標として、1)地域住民と外国人の相互理解を支援すること、2)外国人に対しては、日本で生活する上で必要な、最低限のコミュニケーションを可能とする日本語の支援、3)地域社会のルールやマナーを理解するための支援、4)日本文化への理解を促進することをめざす、というものを掲げた。1)については日本語講座と並行して開催された、地域で日本語教育に関わるボランティアの育成講座を受講していた方々による日本語講座への参加が複数回あったことにより、ある程度達成されたと言える。また、教室外活動の一つとして行った「地域を歩いてみよう」という活動で、訪問したいいくつかの商店で店主とのやりとりで交流が図れた。また、千代田区立図書館訪問においても、コンシエルジュによる館内ガイドツアーがあり、地域で利用できる公的機関の一つとしての図書館に対する理解が得られた。2)については、本講座に参加するためにやって来た外国人学習者の日本語力のレベル差が大きく、照準の合わせ方に苦慮したが、日本人ボランティア1人を1人の外国人学習者に組ませるという個別対応や学習者相互の協働作業により、ある程度達せられたと考えられる。また、昨年度の同事業で作成された教材、『外国人生活者のためのコミュニケーションにほんご』を、本年度の事業で実際に使ってみるということを試みた。基本的な語彙、表現文型、トピックの中から本年度の活動に合う内容箇所を抜き出して使用した。ゼロレベルの学習者も含まれていたために、多くは採用できなかったが、イラストの手助けを借りて理解できるページをなるべく使おうという意識で臨んだ。3)については、ルールやマナーというよりも地域社会を知る、ということの主眼に講座内容を組んだ。消防署で応急処置を学ぶという体験学習を通して、消防署ではこのような講座が提供されている、ということの結果的に理解したであろうし、防災館においては、日本に多い自然災害としての台風や地震に対する知識を深め、対処の方法を学ぶということも彼等には有意義なことであった。4)については、全20回の講座のうち2回を日本文化に触れる機会として充てた。また、年末年始をはさんだ講座期間であったため、教室内外においてこの時期の日本の行事の学習と体験ができたことも日本文化理解の一つになった。

上にも記したが、レベル差の大きいグループであったため、毎回各学習者が何を学び取ってくれたか、どう感じてくれたかを知る為に簡単な記録用紙を配り、書き込んでもらった。そこには、講座内容についてのプラス評価に加えて、多くの語彙を学んだ、日本人とたくさん話ができた、などのコメントが度々見られた。初級レベルの学習者にとって、教室内で日本語を使って日本人ボランティアと話すことは、実社会で日本人と話すことよりも遥かに情意フィルターが低いと考えられる。日常生活において日本人と間近に接することが少ない外国人学習者の参加もあり、本講座は彼らにとって貴重な日本語を使ってみる時間となったと思われる。

(11) 改善点について

本講座に関する改善点としては、講座の日程や時間の組み方にいくつかの問題点が挙げられる。まず、外国人学習者への講座案内をわかりやすいものにすべきだと考える。受講者の募集を行う際に作成したリーフレットには、本講座の開催曜日として金曜と土曜の全20回と表示されていたのだが、外国人学習者は金曜コースと土曜コースの2本だてのように理解したようだ。従って、金曜あるいは土曜のみの参加者と両日参加可能な学習者が本講座に登録したために、金曜と土曜の講座内容の連動性が困難であった。

また、11月から2月の講座開講期間も、必ずしも学習者に参加しやすい時期ではなかったようだ。年末年始を挟んでのプログラムは学習者の家族との休暇の過ごし方を考えると、不都合が生じた可能性もある。さらに、各回3時間の講座というのも、特に仕事を持っている学習者には参加しやすい形態とは言えなかったのではないだろうか。講座開始時に来所した学習者のうち、何名かが数回で参加できなくなったが、仕事の都合を理由に挙げた学習者がいた。実際の各地で開催されているボランティア教室は、1回あたり90分から120分としているところが多い。毎回講座として3時間確保するのは学習者にとっても難しいのではなかろうか。

募集に応じて参加してきた学習者のレベルについては、事前に把握できない性格のものであるが、レベル差が大きすぎると、どのレベルの学習者にとっても不満を感じるようになる。今回、ゼロレベルから上級レベルまでというレベル差が顕著な学習者構成となった場合に対応できるようなボランティアの人員を確保しておく、とある程度解決できると考えられる。日本人ボランティアと外国人学習者がペアになっている個別指導も可能となるし、全体活動も取り入れることにより、疎外感を持つことも防げる。ただし、個別指導にあたっては、ボランティアの役割分担を事前に決め、どのように支援していくのかを予め準備しておく必要がある。レベル差に対応できる講座内容を提供するには、トピックやアクティビティをレベルの違いがあっても可能なものを用意することだ。また、今回の講座では、学習者同士の助け合いが強く見られたが、これこそが学習者に望まれる姿であろう。

講座内容に関する改善点としては、曜日によって日によって参加者が異なることへ対応できるようなシラバスを作成することであろう。積み上げの構造シラバスではなく、毎回ある程度完結できるような、モジュール型の活動内容を用意すると参加しやすくなるだろう。

本年度の事業では、外国人のための日本語講座と同時に地域で日本語支援をするボランティア育成のための講座も開催され、このボランティアの何名かが金曜開催日の日本語講座にヘルプとして参加してくれた。このようなボランティアによる教室支援があると、日本語講座の運営もやりやすくなる。事業を実施する上で、教材開発、ボランティア育成、日本語講座の3本の事業を、いかにそれぞれ連動させるかがキーとなりそうだ。

6. 日本語教育を行う人材の養成・研修の実施

- (1) 講座名称 日本語教室ボランティアのためのスキルアップ研修
- (2) 目的・目標 地域住民への、ボランティア日本語教育人材の育成と、地域在住外国人に対する理解の促
- (3) 対象者 東京都においてボランティアにて日本語を教えたいと考えている人、また既に教えている人。将来、千代田区やその周辺地区にてボランティア教室を開講したいと考えている人。
- (4) 開催時間数(回数) 2時間/回 (全15回)
- (5) 使用した教材・リソース
- (6) 受講者の総数 19人

出身・国籍別内訳			
中国	人	インドネシア	人
韓国	人	タイ	人
ブラジル	人	ペルー	人
ベトナム	人	フィリピン	人
ネパール	人	日本	19人

(7) 養成・研修の具体的内容

回数	開講日時	時間	場所	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	授業概要	講師又は指導者名	補助者名
1	平成26年11月1日(土)14:00～16:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	12人	日本	日本語ボランティアとは	日本語ボランティアの成り立ちと活動の現状、日本語の正しい基本知識と通じる日本語について考え、話し合う。	林川 玲子	北川
2	平成26年11月5日(水)19:00～21:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	14人	日本	〇〇語で自己紹介に挑戦!	外国語で自己紹介をしてみる事により、学習者の気持ちや、どんなことを助けてもらいたかったか等体験を通して実感すると共に、出来たという達成感を味わう。	金子 広幸	北川
3	平成26年11月8日(土)14:00～16:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	13人	日本	やさしい日本語で話そう	やさしい日本語とは何か。何故やさしい日本語なのか、やさしい日本語のポイント、実際にリライトして、お互い話してみる。	梶村 勝利	北川
4	平成26年11月12日(水)19:00～21:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	14人	日本	外国語としての日本語	日本語を外国語として考えてみる。外国人とかかわるときの心構えをグループで話し合ってみる。	林川 玲子	北川
5	平成26年11月15日(土)14:00～16:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	14人	日本	外国人と話してみよう	半分は実際の日本語教室に入り一緒に活動、半分は九段日本語学院の学生と会話をする。	林川 玲子	北川
6	平成26年11月19日(水)19:00～21:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	13人	日本	こう聞かれたら、どう答えよう	学習者から「会話がしたい」と言われたらまず何を考えるか。本当の意味は何なのか。実際にこちらの言っている事が理解してもらえない場合の原因や会話を続ける為に気をつける事。場面を想像し、会話の流れをスクリプトを作って考える。	藤橋 師子	北川
7	平成26年11月22日(土)14:00～16:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	14人	日本	教材をどう活用しよう?	アクティビティを通して自己紹介及び全体の概観。日本語の形容詞をKJ法で考えていくアクティビティから文法に拘る必要の無い事とその理由。「いいとこ探し」で自己肯定感や人のいい所を見つけ他者を尊重する意義と大切さを体感。	宮崎 妙子	北川
8	平成26年11月26日(水)19:00～21:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	13人	日本	外国人と法律	「日本に滞在する外国人が遭遇する法的な問題(在留制度、家族、仕事、社会保障、税金等)に関し、質疑応答を交えた講義を受ける」	海老根 紀子	北川
9	平成26年11月29日(土)14:00～16:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	13人	日本	インターネットを使ってみよう	インターネットで見られる日本語学習の教材紹介、実際に自分達のスマートフォンやタブレットを使って検索したり、情報ページをしてみる。そのように教材として使用するか。	梶村 勝利	北川
10	平成26年12月3日(水)19:00～21:00	2時間	九段日本語学院8F ラウンジ	12人	日本	日本語ゼロの人に対応する方法	グループに分かれての活動。①日本に来たばかりの方と意思疎通を図る方法を考える。②実際のチラシ(スーパー、家電量販店)でできることを考える。③数字教材を使ってみる。	林川 玲子	北川

11	平成26年 12月6日 (土) 14:00～ 16:00	2時間	九段日本語学 院8F ラウン ジ	13人	日本	外国人と話し てみよう	半分は実際の日本語教室に入り一 緒に活動、半分は九段日本語学院 の学生と会話をしてみる。	林川 玲子	北川
12	平成26年 12月10日 (水) 19:00～ 21:00	2時間	九段日本語学 院8F ラウン ジ	11人	日本	アクティビティ	カタカナの学習方法や体を使ったり、 歌を使って活動をしてみることに より、学習者の気付きを体験する。 また学んだ内容をどのように現実 に結びつけるかなど。	金子 広幸	北川
13	平成26年 12月13日 (土) 14:00～ 16:00	2時間	九段日本語学 院8F ラウン ジ	14人	日本	日本語を話す 人への対応 ～手元にある もので何がで きるか	コミュニケーションで必要な事をフ クショップの中で体験。教材として身 近な食べ物(お菓子や缶ジュース、 カップ麺など)を使い、いかに相手に かわる言葉を選んで説明するかなど を体験	藤橋 師子	北川
14	平成26年 12月17日 (水) 19:00～ 21:00	2時間	九段日本語学 院8F ラウン ジ	14人	日本	ワークショッ プ～考えま しょう『地域日 本語教室』っ て？	受講者が関係をつくり、ともに「自分 達の地域日本語教室」を考える事を 目的に、KJ法で今までの講座の振り 返りでお互い感じた事を共有。日本 語教室で何がしたいか、できるか、 できないか、問題かを話し合い。	宮崎 妙子	北川
15	平成26年 12月20日 (土) 14:00～ 16:00	2時間	九段日本語学 院8F ラウン ジ	14人	日本	ボランティア 日本語教室 を始めよう！	日本語ボランティアを始める方法。 立ち上げのために何が必要かを話 し合い。実際に活動している日本語 教室の見学と立ち上げ相談会日程 を相談。	林川 玲子	北川

(8) 受講者の募集方法

区報への掲載、千代田区に登録しているボランティアへのメール、ボランティアセンターのフリーペーパー、投

(9) 特徴的な授業風景(2～3回分)

■第11回目(12月6日)

1コマ目 (50分)	タイトル「外国人と話してみよう」 外国人と話す時の注意点を確認 ①やさしい日本語で ②短い文で ③自己紹介はまず日本人から ④尋問にならないように ⑤話題は、趣味や食べ物など ⑥ジェスチャー、絵、英単語、漢字など使えるものを駆使して ⑦外国人の話した不自然な日本語などを「〇〇ですね」などと確認するように より良い日本語で聞き返す等 外国人8名(韓国3名・台湾2名・ネパール1名・スウェーデン1名・モーリシャス1名) と2つのグループに分かれて途中メンバー交代をしながら40分ずつフリートーク
2コマ目 (50分)	引き続き話をした後、実際に見ていて気付いたこと。 楽しい話し合いができていたようで、外国人の方々は去りがたい様子だった。 受講している日本人が1番感心した事は、日本での学習期間が短い(1ヶ月～3ヶ月) 日本語をよく話す事。また話そうとする姿勢。 話をする事が必死になって、注意点で確認したが、その場になるとやはり日本人が 質問をして外国人が答えるような形になる事が多かった。 しかしチラシを見せたり、アイパッドを見せながら検索してお互い話をするなど工夫も みられた。



■第13回目(12月13日)

1コマ目 (50分)	タイトル「身近なものを使って何ができるだろう」 初めに:伝えるために考えるべきこと ①やさしい日本語→最低限必要な内容は何か、どのような言葉、表現、構文を使えば、話し言葉中心に生活している外国人に伝えることができるか ②説明する→『分かりあう文化』に対し『説明し合う社会』の存在もある。 ③話す態度→コンテキスト理解を妨げているものをなくしていく。 そのために必要なのは、リラックス、安心感、信頼感 身近なものを使う意味は？中味の入ったものを使う意味は？ →外国の言葉をいかにして体の中に入れていくか。その点、最高の教材。 1、情報を取る 2、日本語力を高める
2コマ目 (50分)	【グループワーク・その1】 1. 持参したパッケージの中から、使える表現、言葉を抜き出し、リストにする。 2. その中から、学習者が一番知りたいと思っていそうな言葉を選ぶ。 3. 実際にどのような質問が出るか、それに対しどのように答えるかを考え、寸劇を作る。複数の言葉を組み合わせてもよい。 4. 最初に配役を決め、寸劇を発表する。 5. コメントがあれば全員で共有し、関連事項の解説を講師が行う。 出席者は、14名。4×2, 3×2の4テーブルでグループワークを行った。 選んだ言葉は「とろ〜り」「さくっと」、「まぼちゃん」「ぼたぼた焼き」「ひんやり」これらについての寸劇作成、発表を行った。学習者が分からないことを考え、それについて解説するともっと難しくなる傾向を互いに注意し合いながら、あれこれ話し合いながら、本当に説明は難しいことを実感。分かっているのに説明できないもどかしさが感じられた。 【グループワーク・その2】 持ち寄った紙媒体の情報を検討し、上記と同じ作業を行う。 選んだ言葉は、「歌舞伎写真館」「ウルトラバーゲン」「温泉、旅館」「天井・行列」 日常生活の中に、教材として使えるものがたくさんあることを実感してもらい、寸劇作成では日本語を外国人の目で見ると「コツ」を体得してもらえたと思う。



(10) 目標の達成状況・成果

計画当初は1人の講師が担当する予定でしたが、その後色々な講師が様々な角度から行なった方が面白みもあり、勉強になるのではないかとことから変更しましたが、結果的にアンケートでも良いコメントを頂きました。また、成果として、日本語ボランティアとしての活動をスタートさせる事もできましたので、今後さらにどのような活動をしていくかなど、連携を取りながら活動を支えていきたいと思っています。

(11) 改善点について

受講者のアンケートでもみられるように、第1回目の導入に失敗しました。お互いの事をもっとよく知る事ができるような自己紹介をいれたり、最終的な目的を意識してもらうなど工夫が必要でしたので、次回はそこを重視したプログラムを作るよう改善します。

7. 日本語教育のための学習教材の作成

- (1) 教材名称 活動アイデア集
- (2) 対象 日本語教室の受講者用として作成する。また、日本語教育を行う人材の養成・研修の講義において、地域の生活情報を盛り込んだ教材の作成手順例として活用したい。
- (3) 目的・目標 日本語教育の実施(地域住民と外国人の相互理解を支援する日本語講座)、及び、日本語教育を行う人材の養成・研修の実施(日本語教室ボランティアのためのスキルアップ研修)の取組を実現する教材作成を目標とする。
- (4) 構成・総ページ数 83ページ(表紙含む)
- (5) 教材作成会議の開催について

【概要】

回数	開講日時	時間	場所	出席者	議題	検討内容
1	平成26年 8月12日 (火) 15:00～ 16:30	1.5時 間	九段日本語学 院8F	林川玲子、宮崎 妙子、山形美保 子、金子広幸、北 川淳子	具体的にどのような活動を入れていくか	講座実施方法、どのような教材 を作っていくか、日本語教室、 ボランティア講座内容
2	平成26年 10月10日 (金) 15:00～ 16:30	1.5時 間	飯田橋ボラン ティアセンター	梶村勝利、林川 玲子、宮崎妙子、 山形美保子	具体的にどのような活動を入れていくか	教室活動だけでなく、外へ積極 的にでる活動を増やしていきたい が、どんな活動を入れるか。
3	平成26年 10月24日 (金) 18:00～ 19:00	1時 間	飯田橋ボラン ティアセンター	金子広幸、 宮崎妙子	教材方針確認及びアクティビティ内容について	講座での実践可能性と方法、 ボランティアとの協同作業の可 可能性など
4	平成26年 11月28日 (金) 14:00～ 15:00	1時 間	飯田橋ボラン ティアセンター	梶村勝利、 林川玲子、 宮崎妙子	昨年作成したテキストをどのように活用するか	より実情に即した内容への改訂 にする方法
5	平成26年 11月28日 (金) 15:45～ 16:45	1時 間	武蔵野市ボラン ティアセンター	山形美保子、 宮崎妙子	ボランティア講座と日本語教室の協同での活動について	12/6(土)の協同活動及びボラ ンティア講座修了後の協同活 動について
6	平成27年 1月24日 (土) 14:00～ 16:00	2時 間	九段日本語学 院8F	林川玲子、宮崎 妙子、ボランティ ア講座修了者	具体的に活動集をクラスでどのように実施するか、 どのような協力をしてもらい、活用していくか	日本語教室でどのような活動 ができるか、またやってみての 感想などを吸い取り、どのよう に形にしていくか

(6) 使い方

地域日本語教室に集まる外国人・日本人がより心豊かな生活ができるように、活動を通して、共に学び尊重しあう関係作りを目指し作成されています。第1部はボランティア間で、第2部と3部は日本語教室内で使って頂ける活動のアイデアを集めました。
活動は「日本語学習の隙間にやってみる」位の軽い気持ちで取り入れてみて頂けるような内容になっています。メンバーが変われば、何度でも使って頂ける活動ばかりです。

(7) 具体的な活用例

一緒に勉強している仲間に感謝の気持ちを送る「ありがとうカード」は贈る側も贈られる側も相手の事を思い、よりよい関係を築く手助けになるのではないかと思います。
A4サイズ(他のサイズでももちろん大丈夫)の紙にサンキューカードと書いて、ポストイットを自分を除く人数分配ります。それぞれの人の良い所や、助けてもらったことなど、プラスのことを書き込んでいきます。
日本語がまだなら英語や母語でも、自分の思いを伝えられる言葉や絵でもいいと思います。
書いた物を読んで貼っていく、もしくは貼った物を読んで、全員でよい点を共有します。
とてもよい雰囲気になると思いますし、モチベーションもあがる活動なので、是非使って頂きたいです。

(8) 成果物の添付

8. 事業に対する評価について

(1) 事業の目的 本事業の目的は、千代田区におけるボランティア日本語教育の活性化と拡充を支援す

(2) 目標の達成状況・事業の成果 日本語ボランティア研修は途中でアンケートを実施。そこででたリクエストを活かして改善しながら後半を実施。最終的に再度アンケートを実施しました。その後、日本語教室のサポートに入ってもらったり、教材開発に協力してもらう中で、自分達でも日本語教室をつくろうというモチベーションがあがり、最終的な成果としては、日本語ボランティア講座修了者が日本語教室をスタートさせる事ができました。今後さらに25年度に作成した教材や今回の活動アイデア集を使って、より改善を加えてよい物にしていって頂きたいと願っています。

(3) 標準的なカリキュラム案の地域での活用について

できる限り昨年作成した教材を実際の教室で使用していくこと、また昨年は教室内活動がほとんどだったので、今回はなるべく外にでる活動を増やすことを意識し、それを活動アイデア集にも反映させる事を意識しました。

(4) 地域の関係者との連携による効果、成果 等

地域という意味では今回の活動を通して以前よりもよい関係を築けてきたという事が1番の成果だと思います。特に防災関係では、三崎町出張所での救急法講習により、学習者のみならず、一緒に参加した日本人ボランティアや我々も日頃から訓練する必要さを実感しました。そこから情報収集する事により、千代田区で実施している防災訓練や学習会などの存在を知る事ができ、今後に活かす事ができたので、大きな収穫です。

(5) 改善点、今後の課題について

学習者をどこからどのように集めるか、分析及びAPPROACH方法を考えていくのが最大の課題です。今までと同じ集め方では、同じような人数しか集まらないので、それを1番のポイントにして今後改善をして行くこと。また折角スタートした日本語教室が、短期間で消滅してしまわないように、出来る限りサポートして、地域の中でよい活動ができるようにしていくことです。

(6) その他参考資料

日本政府文化机构指定项目

千代田区日语班

我们正在为在千代田区居住、工作或学习的人群开办日语班。你可以在此学习日本礼仪、学会解决日常生活问题（比如如何与邻居交流、在身体不舒服时如何看医生、如何使用各种积分卡等等……）。

另外，你还有机会在此咨询律师、体验茶道（烹茶饮茶仪式）和书道（日本书法）。你也许会由此发现生活在日本的新方式。

欢迎你参加本免费课程！！



时间：星期六 13:00 ~ 16:00
11/1・11/15・12/6・1/10・1/17
1/24・1/31・2/7

星期五 9:30 ~ 12:30
11/7・11/14・11/21・11/28・12/5・12/12
12/19・1/9・1/16・1/23・1/30・2/6

地点：九段日本文化研究所 日本語学院

学费：免费

限员：15 人

※可中途参加

●E-mail

j.kitagawa@kilc.co.jp



〒101-0061

千代田区三崎町 2-7-10

帝都三崎町大楼 1F

TEL) 03-3239-7923

主管者：Kitagawa

Email: j.kitagawa@kilc.co.jp



URL: www.kudan-japanese-school.com/bunkacho/

ちよだく がいこくじん にほんごこうざ
千代田区外国人のための日本語講座
にほんご べんきょう
日本語の勉強をしませんか

にほんご べんきょう
日本語の 勉強をします。

にほん マナーと ちか ひと はなし
日本の マナーと 近くの人と話を することを べんきょう
勉強します。

しやどう さどう
書道・茶道をします。

にほん せいかつ とき こま そうだん
日本で 生活する とき 困ります、わかりません。相談してください。



どうび
いつ : 土曜日クラス 13:00 ~ 16:00
11/1・11/15・12/6・1/10・1/17
1/24・1/31・2/7

きんようび
金曜日クラス 9:30 ~ 12:30
11/7・11/14・11/21・11/28・12/5・12/12
12/19・1/9・1/16・1/23・1/30・2/6

くだんにほんごがくいん
どこ : 九段日本語学院

がいこくじん にほんご べんきょう
だれ : 外国人です。日本語を 勉強したいです。
ちよだく す
千代田区に 住んでいます。
ちよだく はたら
千代田区で 働いています。
ちよだく がっこう い
千代田区の 学校に 行っています。

かね ぶりよう
お金 : 無料

なんにん にん
何人 : 20人

わからない ことは メールで き 聞いてください。
j.kitagawa@kilc.co.jp



九段日本文化研究所 日本語学院
Kudan Institute of Japanese Language & Culture



〒101-0061

ちよだく みさきちょう ていとみさきちょう
千代田区三崎町 2-7-10 帝都三崎町ビル 1F

くだんにほんぶんかけんきゅうじょうにほんごがくいん
九段日本文化研究所日本語学院

TEL) 03-3239-7923 FAX) 03-3239-7920

たんとう きたがわ
担当 : 北川 Email : j.kitagawa@kilc.co.jp

URL : www.kudan-japanese-school.com/bunkacho/index_jp.php

Designated Program by Cultural Agency of Japanese Government

Japanese Class for people in Chiyoda-ku

We are having Japanese class for people who live or work or study in Chiyoda-ku. You can learn about Japanese mannerisms, how to do things (such as how to communicate with neighbors, how to tell a doctor when you don't feel well, how to use various kind of point card etc...)

Also, you have chance to talk with a lawyer and experience Sado(Tea ceremony) and Shodo(Japanese Calligraphy).

You may find out new style of living in Japan.

You are welcome to join this free class!!



Date : Saturday Class 13:00~16:00

11/1・11/15・12/6・1/10・1/17
1/24・1/31・2/7

Friday Class 9:30~12:30

11/7・11/14・11/21・11/28・12/5・12/12
12/19・1/9・1/16・1/23・1/30・2/6

Place : Kudan Institute of Japanese Language&Culture

Tuition : Free

Capacity : 20 person

※You can join in midway

●Contact details for inquiries

j.kitagawa@kilc.co.jp

Feel free to contact us for any questions.

 九段日本文化研究所 日本語学院
Kudan Institute of Japanese Language&Culture



〒101-0061

Email ↓

Teitomisaki Building 1F, 2-7-10,
Misaki-Cho, Chiyoda-ku, Tokyo
TEL) 03-3239-7923

Person in charge : Kitagawa

Email : j.kitagawa@kilc.co.jp

URL : www.kudan-japanese-school.com/bunkacho/



にほんご たの はな
日本語で楽しく話しましょう!

にほんごかふえ すわん
ちよだ日本語カフェ 『Swan』

にほんご ぼらんていあぐるーぷ
日本語のボランティアグループで

3月6日
OPEN

ひと にほんご たの りゅう
たくさんの人と日本語で楽しく交流しましょう。

🦢 にち じ まいしゅうきんようび
日 時 毎週金曜日 18:30~20:30

🦢 ば しょ くだんにほんぶんかけんきゅうじょにほんごがくいん きょうしつ
場 所 九段日本文化研究所日本語学院 8F (803教室)
〔ちよだくみさきちょう ちよだくみさきちょう びる
千代田区三崎町2-7-10 帝都三崎町ビル〕

もよりえき
【最寄駅】

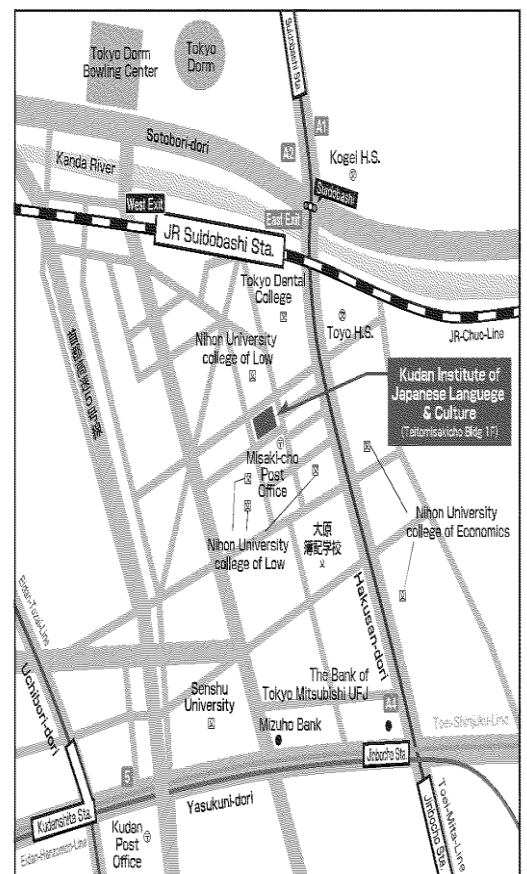
☆ JR すいどうばしえきひがしぐちげしゃ とほ ふん
水道橋駅東口下車 徒歩4分

☆ ちかてつじんぼうちやうえきげしゃ でぐち とほ
地下鉄神保町駅下車 A4出口より徒歩8分

🦢 かい ひ えん かい
会 費 300円/回 または1,000円

🦢 といあわ
問合せ swanchiyoda@gmail.com

まってま〜す



～^{く だ ん に ほ ん ご が く い ん}九段日本語学院^{み な}の皆さんへ～

^{にほんご} ^{たの} ^{はな}
日本語で楽しく話しましょう!

^{にほんご} ^{かふえ} ^{すわん}
ちよだ日本語カフェ 『Swan』

^{にほんご} ^{ぼらんていあぐるーぷ}
日本語のボランティアグループです

3月6日
OPEN

^{ひと} ^{にほんご} ^{たの} ^{こうりゆう}
たくさんの人と日本語で楽しく交流しましょう。

 ^{にち} ^じ ^{まいしゅうきんようび}
日 時 毎週金曜日 18:30～20:30

 ^ば ^{しょ} ^{く だ ん に ほ ん ぶ ん か け ん き ゅ う じ ょ に ほ ん ご が く い ん}
場 所 九段日本文化研究所日本語学院 8F (803)

 ^{かい} ^ひ ^{むりよう}
会 費 無料

 ^{といあわ}
問合せ swanchiyoda@gmail.com

まってま～す



教室)

Let's have fun speaking Japanese!

The Chiyoda Swan Japanese Cafe is a Japanese class
offered by a Japanese volunteer group
where you can learn Japanese through free conversation.

Let's meet and have a conversation
with many Japanese native speakers.

We're looking forward to seeing you!

**6th
MARCH**

🦢 Schedule* Every Friday 18:30 ~ 20:30

🦢 Place* Kudan Institute of Japanese Language & Culture (Class 803)

Address: Teitomisakicho Bldg., 8F, 2-7-10, Misaki-Cho, Chiyoda-ku, Tokyo

Commuting Station: JR Suidobashi station
East Exit about 300m/4-minute walk
Tokyo Metro Jimbocho st.
Exit A4 about 600m/8-minute walk

🦢 Fee* 300yen/1 lesson
or 1000yen/1 month

🦢 e-mail* swanchiyoda@gmail.com

